

# 活発なサークル活動から 次代の担い手確保へ

西勝山町内会 会長 しの 篠 実さん(中)  
副会長 たい 泰 孝一さん(右)  
副会長 かね だ 金田 邦次さん(左)



## モットー通りに 町内会への参加意識が高い地域

西勝山町内会は、昭和48年発足で令和5年に50周年を迎えました。当町内会では「仲良く・楽しく・元気よく」というモットーをもとに活動しています。それもあってか、発足当初から町内会活動に対する協力度や参加意識が高い地域です。

4つの区で構成されている町内会では、かつて区対抗のソフトボール大会やバレーボール大会、芋煮会が開催され、学区民体育祭にはその選抜メンバーで臨んでいました。こうしたつながりから、さまざまなサークルが立ち上がり、活動も盛んになっていきました。

これらのサークル経由で町内会役員などになった人も多いです。

## さまざまなサークルがあり それぞれ活発な活動を展開

現在、西勝山町内会には「ソフトボール愛好会」「ゴルフ愛好会」「グラウンドゴルフ愛好会」「ディスコン※愛好会」「太鼓愛好会『匠』」「ストレッチドリーム愛好会(ストレッチ教室)」「友笑会(日本舞踊サークル)」「はつらつ会(老人クラブ)」「酉年会」「亥会」「山形県人会」「子ども育成会」があります。

※ディスコン：2チームで、円盤をポイントに目指して投げ合い、どちらが近づいているかを競うニュースポーツ



ソフトボール愛好会「ドリンカーズ」ファミリーデイの案内

各サークルへの参加の声掛けは、毎月発行している町内会の広報誌「こんにちは」での告知はもちろん、さまざまな町内会行事や体育振興会の各種大会開催時に行っています。

各サークルは基本的に町内会の会員のみが参加できますが、以前町内に住んでいた方や町内で営業している企業の方も準会員として参加することが可能です。サークルの運営費は、「はつらつ会」と「子ども育成会」といった一部のサークルには町内会から費用を援助していますが、基本的には費用助成なしで自主的に活動しています。

新しいサークルの立ち上げは、会長の発案が多いです。直近では、町内の街路樹の落ち葉拾いや雪かきなどの町内環境整備を行う「応援部」などを新設しました。

## 町内行事からサークルへ そこから次の担い手を発掘

町内で行われる体育祭、夏祭りや文化祭りなどの大きなイベントで、テント張りを手伝ってくれた人や、地域清掃活動に参加してくれた人にもサークルへの参加を声掛けし、そこから町内会役員の担い手を見つけています。ポイントはあくまで「自然に」。日ごろからの関係性が重要です。

サークル活動のほかにも、現在力を入れているのが、「はつらつ会」と「子ども育成会」の連携です。今年は12月にクリスマス会を開催し、一緒にゲームなどを行う予定で、こうしたイベントも担い手の発掘につながると考えています。

また、地域に転入して2年以内の町内会や地域のことをあまり知らない30代から40代の転入者を対象とした懇談会の実施を予定しています。

日々のサークル活動に加え、役員が町内会活動の楽しさを伝え、「町内会が動いている」ことを見せることが重要で、そこから人との“つながり”を作ることが、町内会役員の担い手確保だけでなく、いざというときの助け合いに繋がると考えています。